

【添付資料①】 《経路選択に役立つ情報》

【山陽自動車道・中国自動車道】

1月3日(火曜)は、山口 JCT(山口県)から吹田 JCT(大阪府)まで山陽道経由の場合、11時～24時までの間で、篠坂 PA 付近(岡山県笠岡市)、二子 TN 付近(岡山県倉敷市)、尼子山 TN 付近(兵庫県赤穂市)、宝塚西 TN 付近(兵庫県宝塚市)を先頭にそれぞれピーク時に 10km から 20km の交通集中渋滞を予測しており、各渋滞を通過するのにピーク時は 30 分から 1 時間 20 分程かかると見込んでおります。これらに加えて、志和 TN 付近(広島市安佐北区)など合計 7 箇所までピーク時 5km の交通集中渋滞を予測しております。

山口 JCT または広島 JCT から吹田 JCT まで中国道経由の場合、吉川 JCT(兵庫県三木市)までピーク時 5km 以上の交通集中渋滞が発生しないと予測しております。

なお、中国道は山陽道に比べて山間部を通過しますので、冬用タイヤの装備など雪道走行への十分な備えをお願いいたします。また、「アイハイウェイ」で最新の雪道情報を入手してください。

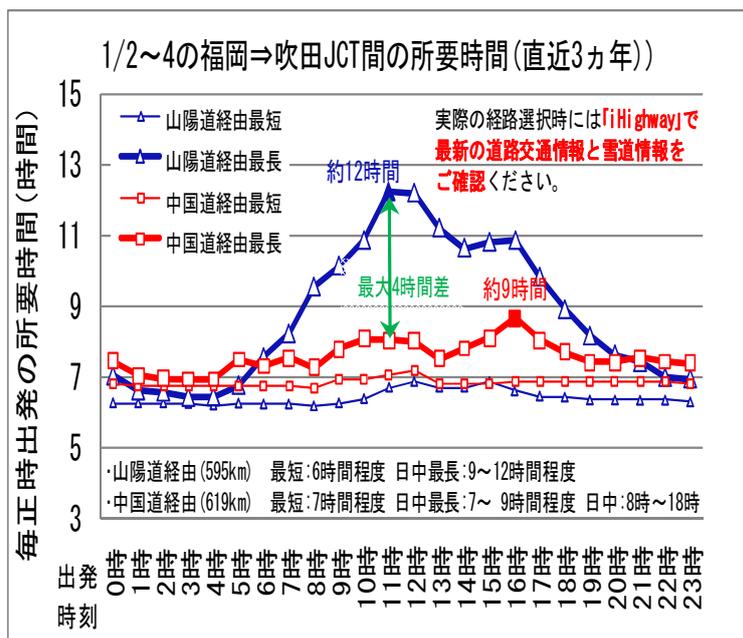
さらに、中国道経由の場合、約 150 km 先まで給油できない箇所がありますので、燃料切れには十分ご注意ください。(最長給油所間距離 中国道経由:美東 SA～安佐 SA 間約 148 km,山陽道経由:吉備 SA～龍野西 SA 間約 65 km)詳しくは、(<http://www.w-holdings.co.jp/gs/imges/230801west.jpg>)をご覧ください。

(1月3日(火曜))に山陽道と中国道の上り線(山口から大阪方向)で予測しているピーク時 5km 以上の渋滞



直近 3 カ年の年始(1月2日～4日)の実績では、福岡 IC(福岡県)を出発し、山口 JCT から山陽道経由で吹田 JCT(大阪府)まで走行(約 595km)した場合、順調時は 6 時間程度で到着できていましたが、事故等による渋滞の影響を受けた時は最長で 12 時間程度かかりました。

一方、同一区間を同時刻に出発し、山口 JCT から中国道経由で走行(約 619km)した場合、順調時は 7 時間程度と山陽道経由より 1 時間程度長くかかりましたが、兵庫県内以外ではほとんど渋滞の影響を受けないため、最長でも 7 時間から 9 時間程度で到着できており、山陽道経由より最大で 4 時間程度早く到着できていました。(11 時と 12 時出発の場合)

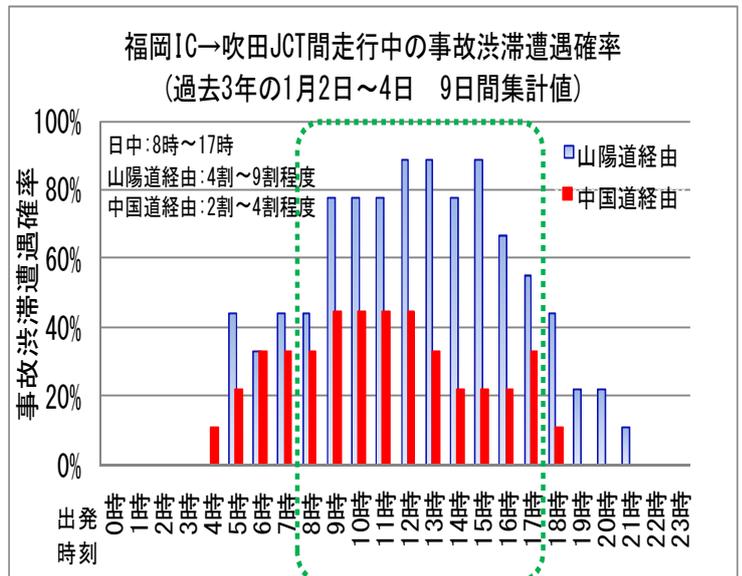


所要時間は車両感知器データを基に算出した値で事故等の影響を含みます。

また、同期間(直近3カ年の年始)に福岡ICから吹田JCT間を走行する間に事故渋滞に遭遇した確率を山口JCTから山陽道経由で走行した場合と中国道経由で走行した場合とで比較したところ、日中時間帯(8時から18時まで)に出発した場合、山陽道経由では概ね4割～9割でしたが、中国道経由では2割～4割程度でした。

中国道経由は山陽道経由に比べて、事故渋滞に巻き込まれる確率が低いですので、経路選択の参考にしてください。

なお、**実際に経路選択される際には「アイハイウェイ(<http://ihighway.jp>)」で各経路の最新の交通情報と雪道情報をご確認ください。**

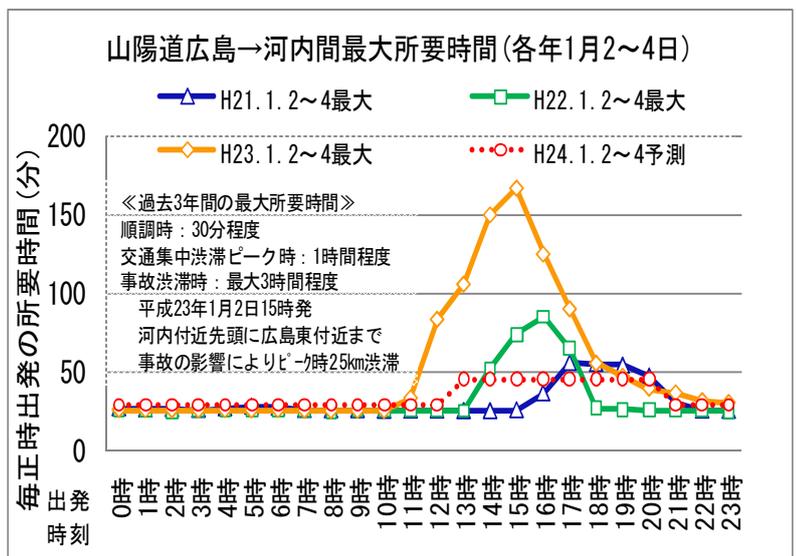


事故渋滞遭遇確率とは、事故等の影響を含んだ渋滞に遭遇した確率と定義し、車両感知器データを基に算出しています。

《広島ICから広島空港へ向かわれる方へ》

山陽道で広島ICから広島空港最寄りの河内ICまで(約39km)走行した場合、直近3カ年の年始(1月2日～4日)は**順調時に最大30分程度**で到着できていましたが、**15km程度の交通集中渋滞が発生した場合は最大1時間程度**かかりました。なお、**ピーク時25kmの事故渋滞に巻き込まれた昨年1月2日は、最大で3時間程度**かかりました。

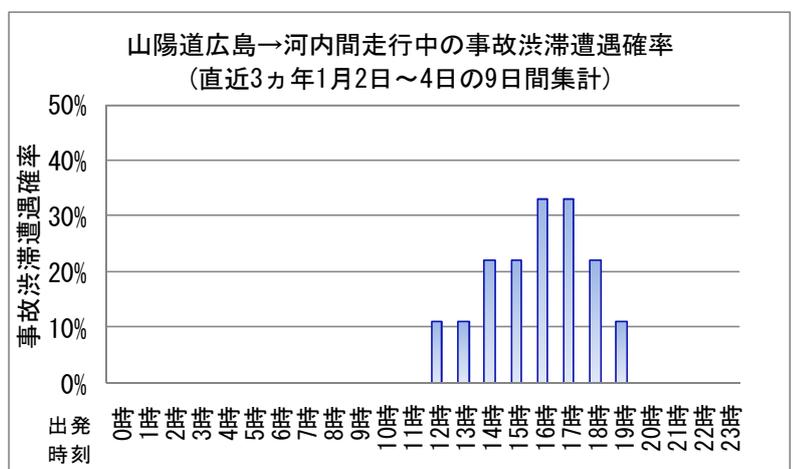
1月2日と3日の午後はピーク時5kmの交通集中渋滞を予測していますので、最大50分程度かかるものと見込んでおります。



同期間(直近3カ年の年始)の午後(12時～19時)に広島ICを出発した場合に事故渋滞に遭遇した確率は1割から3割程度であり、マイカーやリムジンバス等で移動される際は、**搭乗予定の便に乗り遅れないためにも相当の時間的余裕を持たれることをおススメします。**

なお、広島駅からJR山陽線白市駅経由で広島空港まで公共交通機関で向かわれる場合は、広島空港のウェブサイト

(<http://www.hij.airport.jp/access/route/jr.html>)を参考にされてはいかがでしょうか。



事故渋滞遭遇確率とは、事故等の影響を含んだ渋滞に遭遇した確率と定義し、車両感知器データを基に算出しています。